取扱説明書番号
M437-RXXZ

RHYTHM

電波時計　取扱説明書
（カレンダー・温度湿度表示付掛時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元　リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1411)

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10 ～ 50℃　＊結露しないこと
液晶表示可読温度	0 ～ 40℃
時間精度	標準電波受信直後の表示精度　秒針　±1秒　　時分針　目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合　　平均月差 ±20 秒 温度が5～35℃のときのクオーツ精度
デジタル表示	LCD　㊟1
表示項目	月日、曜日、六曜、温度、湿度を表示
カレンダー	2010年～ 2099 年まで対応、六曜は2033年7月31日まで
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V　4個
電池寿命	明るさスイッチの設定　消す：約5年　弱：約1年　強：約6か月 標準電波の受信に成功して、照明1日当たり7時間点灯
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止
照明機能	明暗センサーと連動して照明
明るさ設定	強・弱2段階　（消す機能あり）
電池交換時期お知らせ機能	電池マークが点灯、秒針が12時位置に常時停止
電波時計機能	標準電波を受信して日時を自動修正
受信局	福島局／九州局　自動選択
受信機能	ON/OFF切り替え可能
自動受信回数	1日に12回
自動受信時刻	0、2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22時各時間帯の16分20秒に受信開始
手動時刻合わせ	デジタル合わせ
温度表示範囲	表示範囲　−9.9 ～ +49.9℃
温度測定精度	温度精度　±2℃
湿度表示範囲	表示範囲　20 ～ 90%RH　㊟2
湿度想定精度	湿度精度　±10%RH

㊟1 液晶について
▷0℃以下では、薄くなったり、反応が鈍くなったり、表示が消えたりすることがあります。40℃以上では表示が濃くなったり、むらになったりすることがあります。温度が 0 ～ 40℃になれば正常に戻ります。
▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなることがあります。

㊟2 湿度の測定について
▷湿度は、温度が5℃未満または45℃を超えると、測定することができません。
▷湿度は相対湿度です。%RHは相対湿度を表しています。
▷測定は1分間隔で行います。

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　電池　4個、　木ねじ　1個、　取付金具　1個、　くぎ　4本
　　　　取扱説明書　本書、　保証書　1枚

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4FY○○○、4FYA○○

お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
　　　　　　　　❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 液漏れしたときは、電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手で触らない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が−10℃以下の所。
- 暖房機器からの風が直接当たる所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 幼児の手が届かない所に置く 。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池はお試し用ですので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の交換時期お知らせ機能 ………　電池マーク表示、秒針が停止

電池の交換時期になると電池マークが表示され、秒針が常時12時位置に停止します。また、照明機能が停止し、標準電波の受信を行いません。このような状態になったときには、速やかに新品の電池にすべて交換してください。
電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

⚠注意　電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が動いていても、照明の使いかたに応じて定期的に交換する。
電池交換の目安　明るさスイッチ　消す：約5年　弱：約1年　強：約6か月
●時計が止まったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

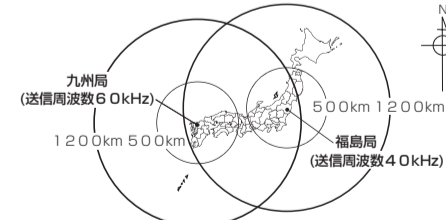
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

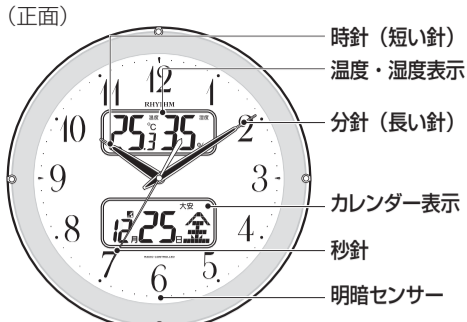
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

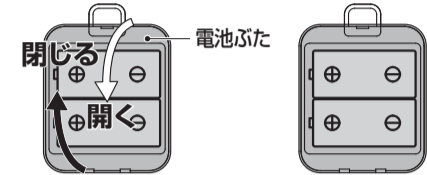
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

使用方法　電池を入れて、電波を受信して時刻を合わせる

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

（正面）

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、むらになったりすることがあります。

電池を入れる　単2形アルカリ乾電池

（裏面）

左右2カ所に電池ホルダーがあります。すべてに電池を入れてください。

①電池ぶたを取る。

②電池を４個電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる。

③電池ぶたを取り付ける

強制受信ボタン　（裏面操作部）

電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

時刻合わせボタン

手動で時刻を合わせるときに使用します。

手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

◎**窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。**

❶**電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

❷**強制受信ボタンを押す**

針は、早送りで4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

❸ **時計の掛けかた** に従って、時計を確実に掛ける

❹**16分待って結果を確認する**

最長で16分程度受信を行い、受信が終わると針が早送りで時刻を示します。

受信に成功しているときは、電波マークが点灯します。

標準電波ー受信の流れ を参照。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

標準電波ー受信の流れ

強制受信ボタンを押して受信しているときと、暗い所で受信しているときは、温度・湿度を表示しません。

①強制受信ボタンを押す

針は、4、8、12 時のいずれかに早送りで移動して、受信が終わるまで停止します。

※受信が終わるまで、操作ボタンに触れないでください。

電波マークの変化について（電波サーチ機能）

はじめは短い間隔で点滅します。受信する局が、九州局または福島局のいずれかに決まると、**1秒点滅**に切り替わります。

電波マークは、受信中、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。

電波マーク

❶または❷の状態が続く場合は、設置場所を変えてください。

受信終了（最長16分後）

②受信結果の確認

▶受信成功

成功　電波マーク点灯

受信に成功すると電波マークが点滅から点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。

電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。

▶受信失敗

失敗　電波マーク消灯

受信に失敗すると電波マークは消灯します。表示されている時刻は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**

電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●**時刻を合わせて使用する**

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクオーツ精度になります。

時計の掛けかた

⚠注意　**掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。**

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

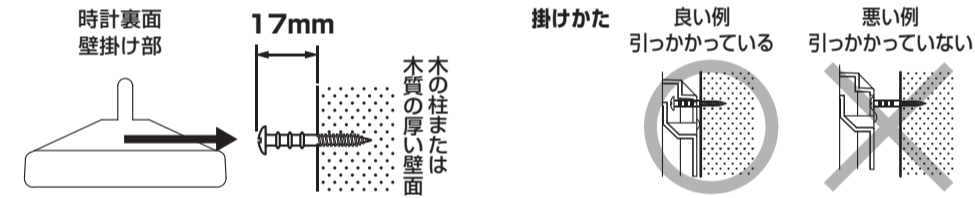
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

掛けかた

■ 石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。

●付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。

●取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。

●取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

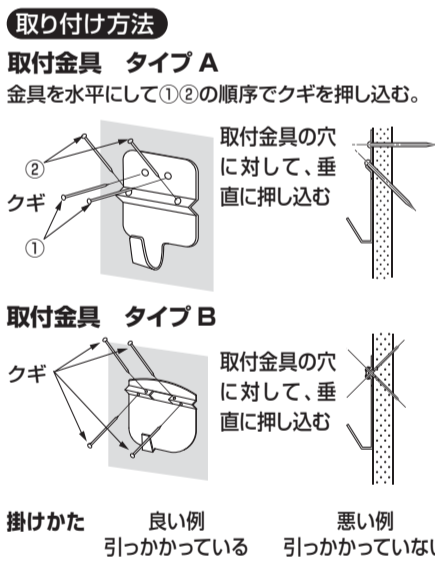
取り付け方法

取付金具　タイプ A

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

取付金具　タイプ B

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

■ その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

掛けかた

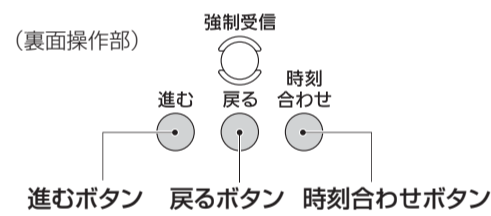
手動での時刻合わせ… 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

⑴時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

⑵西暦年、月日、時刻、電波受信ON／OFFの順に設定します。

●**進むまたは戻るボタン**を押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●**時刻合わせボタン**を押すと、次のステップに移ります。

（裏面操作部）

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※**標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差 ±20秒のクオーツ精度になります。**

操作例. 2015年12月25日　午前10:37に合わせる

① 設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が**点滅**するまで、約3秒間**押し続ける**。

② 西暦年

進むまたは**戻るボタン**で「2015」に合わせ、**時刻合わせボタン**を押す。

③ 月日

進むまたは**戻るボタン**で「12月25日」に合わせ、**時刻合わせボタン**を押す。

④ 時刻

進むまたは**戻るボタン**で「10:37」に合わせ、**時刻合わせボタン**を押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロ秒になります。
※進むまたは戻るボタンを押すと針が停止します。

⑤ 電波受信ON／OFF 選択

進むまたは**戻るボタン**で、電波受信の**ON**／**OFF**を選択して、**時刻合わせボタン**を押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送りで、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。

温度、湿度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィースなどの室内用です。

温湿度は、同じ室内でも設置した所や設置する高さによっても違いが出ることがあります。

●直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

●温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所で違いがでます。

㊟厳密な温度・湿度管理、温度・湿度の証明には使用できません。

○**センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。**

○**測定範囲を超えたとき**

温度　LL.L：−9.9℃より低温　HH.H：+49.9℃より高温

湿度　LL：20% 未満　HH：90%より高い

※**温度が、5℃未満または45℃を越えたときには、湿度が計測できません。「--」を表示します。**

※**暗い所で標準電波を受信しているときは、温度、湿度表示をしません。**

照明の使いかた …… 暗くなると照明が点灯する

明暗センサーに連動して、暗くなると文字盤と液晶表示部の照明が点灯します。

明るさ選択スイッチ

明るさ選択
強
弱
消す

明るさ選択スイッチを設定してください。

強　：最大の明るさで照明

弱　：明るさを抑えた照明

消す：照明を使わない

●**電波を受信している最中は、受信しやすくするために消灯します。**

●**照明しているとき、液晶表示部は正面および上方からは読み取れません。時計を見上げる位置でご使用ください。**

標準電波受信機能のON/OFFについて

電波受信機能は、工場を出荷するときには、ONになっています。

ONの場合は、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

OFFの場合は、受信を行いません。誤受信しやすい所で使用する場合や任意の時刻に合わせてご使用になるときに、OFFにします。

電波受信のON／OFF設定は、**手動での時刻合わせ** の操作の中で行います。

※電波受信のON/OFFだけを切り替えるときは、④の項目までは、**時刻合わせボタン**のみを押して、⑤電波受信ON/OFFまで進めてください。

※電池を取り出しても、設定を長い時間保持します。ON/OFFを切り替えるときは、**手動での時刻合わせ** の手順に従ってください。

強制受信ボタンについて

電池を交換したときや設置場所を変えたときなど、受信を開始するときに押します。

電波受信機能のON／OFFにより異なった動きをします。

電波受信機能がONのとき

強制受信ボタンを押すと受信を開始します。電波マークが点滅をはじめ、針は4、8、12時のいずれかに移動して受信が終わるまで停止します。

電波受信機能がOFFのとき ………OFFが表示されています

強制受信ボタンを押すと、針が4、8、12時のいずれかに早送りで移動してから時刻を表示します。必要に応じて手動で時刻を合わせてください。

明暗センサーのはたらき ……… 暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。明るくなると秒針は動き出します。また、明るさ選択スイッチが強または弱に設定されているときは、照明が点灯します。

昼や夜間照明機器により照明しているときでも明るさが不足すると反応します。

六曜表示について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。

○六曜は慣習として使われていますが、公的な機関が定めたものではありません。

○六曜は2010年1月1日から2033年7月31日まで対応しています。